

2016（平成 28）年度

事 業 報 告 書

一般社団法人 日本産業機械工業会

目 次

I	概括	1
II	部会関係	2
	1. ボイラ・原動機部会	2
	2. 鉱山機械部会	2
	3. 化学機械部会	3
	4. 環境装置部会	4
	5. タンク部会	13
	6. プラスチック機械部会	14
	7. 風水力機械部会	15
	8. 運搬機械部会	17
	9. 動力伝導装置部会	19
	10. 製鉄機械部会	19
	11. 業務用洗濯機部会	20
	12. エンジニアリング部会	21
III	委員会関係	22
	1. 政策委員会	22
	2. 労務委員会	23
	3. 貿易委員会	24
	4. 編集広報委員会	25
	5. 産業機械工業規格等調査委員会	25
	6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会	25
	7. 環境委員会	26
	8. エコスラグ利用普及委員会	27
IV	関西支部関係	29
V	共通基盤事業関係	34
VI	共通基盤活動関係	38

I 概括

2016（平成28）年度のわが国経済は、実質GDP成長率が10-12月期に4四半期連続でプラス成長となるなど、緩やかな回復が続くものの、個人消費や設備投資に力強さを感じるまでには至らなかった。

そのような状況の下、一般社団法人日本産業機械工業会（以下、当工業会という）の2016（平成28）年度の受注は、前年度比6.7%減の5兆944億円となり、2年連続で前年度を下回った。このうち、内需については官公需が増加したものの民需が減少したことから4年ぶりに前年度を下回り、外需については2年連続で前年度を下回った。

こうした中、当工業会は、わが国経済の成長力の強化と、生産性の向上、社会的課題の解決、会員企業の業績の改善を念頭に、これまでの取り組みの成果を更に発展させ、地球環境問題や資源・エネルギー問題への対応、機械安全の推進、需給動向の調査、規格化・標準化の推進等に取り組んだ。具体的には、エコスラグの利用普及、優秀環境装置の表彰、環境活動基本計画の策定、経団連低炭素社会実行計画・循環型社会形成基本計画への協力、風力発電関連機器産業の動向調査、産業用ボイラのリスクアセスメントに係るガイドラインの作成、タンクの災害対応に関する調査、「汎用ポンプ保守管理について」の改正、「ロータリ・ブロワ運転管理について」の改正、「射出成形機の部品故障によるリスクの評価と対策としての点検頻度一覧表」の作成、国内製鉄所の事故等に関する調査、環境装置産業の事業展開に関する調査研究、今後成長が期待される分野に関する調査研究、新たな水環境ビジネスに関する調査研究、先端技術に関する調査研究、バイオマス発電に関する調査研究、リサイクルの高度化に関する調査研究、「風水力機械産業の現状と将来展望」の発行、二軸押出機の海外輸出規制に係る調査、海外の三相誘導電動機の効率規制の調査、水素の利活用に関する調査研究、産業機械の受注見通しの策定、日本工業規格（以下、JISという）・国際標準化機構（以下、ISOという）等の規格の制定・改正、生産性向上設備投資促進税制及び中小企業等経営力強化法における経営力向上設備等に関する税制措置への対応など、広範囲に亘る事業を実施し産業界並びにわが国の施策に貢献した。

また、東日本大震災、熊本地震からの復興・再生支援に繋がる活動を重要テーマのひとつと位置づけ、情報共有や諸課題の解決に向けた各種事業に積極的に取り組んだ。

これら事業等の実施にあたっては、関係省庁及び関連団体並びに多数の有識者から様々な形で協力を賜った。

ここに会員共々関係各位に厚く感謝の意を表するものである。

Ⅱ 部会・センター関係

1. ボイラ・原動機部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する受注等の統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(2) 省エネルギー、環境関連の情報収集及び普及活動の推進

ア. 省エネルギー、環境関連の情報を収集した。また「低炭素設備リース信用保険」対象製品を選定し、一般社団法人低炭素投資促進機構に登録した。

イ. 「2020年に向けての産業用ボイラ需要動向と将来展望」の作成に向けて検討を行った。

(3) 機械安全の推進

産業用ボイラのリスクアセスメントに係るガイドラインを作成した。

(4) 施設調査及び研修会等の実施

ア. 2016（平成28）10月6日～9日に台湾へ視察団を派遣し、YKK台湾社 中歴工場を訪問し、ファスナー製造工場を視察した。また、公益財団法人交流会 台北事務所を訪問し、現地経済事業等の情報収集を行った。

イ. 2016（平成28）年11月10日に霧島酒造株式会社 本社工場を訪問し、焼酎粕を利用した焼酎粕リサイクル施設を視察した。

(5) 関係行政機関及び関連団体等への協力

国際標準化機構規格に関し、関係行政機関及び関連団体等の専門委員会等に委員を派遣し、関連業界の意見の取りまとめ等に協力した。

ア. ISO/TC161（ガス及び油用安全及び防護装置）国内対策委員会及びWG

イ. ISO/TC109（オイル及びガスバーナー）国内対策委員会及びWG

2. 鋤山機械部会

(1) 統計調査の実施

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を把握した。

(2) 標準化の推進

JIS M 0103 (ボーリング用機械・器具用語) の改正案を引き続き作成した。

(3) 機械安全の推進

ア. ボーリングマシン、骨材プラントに関する「安全マニュアル」改訂版を引き続き作成した。

イ. ボーリングマシン及び破碎機等のリスクアセスメントに係るガイドライン案を引き続き作成した。

(4) 海外動向調査の実施

2016 (平成 28) 年 9 月 2 日 (金) に、大韓民国、慶尚南道道庁より紹介を受けた、HYUNDAI WIA 工作機械、VOLVO 建設機械 KOREA を訪問し、大韓民国企業の事情について情報収集を行った。

(5) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

ア. 講演会

2016 (平成 28) 年 7 月 14 日に次の講演会を開催した。

テーマ：航空機産業の歴史とその未来

講師：為村 浩一 殿 三菱重工業株式会社 グループ戦略推進室
渉外部 シニア GR アドバイザー

イ. 施設調査

a. 2016 (平成 28) 年 6 月 16 日

トヨタ自動車北海道株式会社を訪問し、自動車エンジン製造ラインの視察をした。

b. 2016 (平成 28) 年 11 月 10 日

株式会社エフピコ 福山リサイクル工場を訪問し、プラスチック容器の選別ライン等の視察をした。

3. 化学機械部会

(1) 役員改選

2016 (平成 28) 年 7 月 1 日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：楨島亀久夫 月島機械株式会社 代表取締役 専務執行役員
産業事業本部長 (新任)

副部会長：矢野 謙介 木村化工機株式会社 取締役
エンジニアリング事業部長 (新任)

副部会長：今中 照雄 株式会社神鋼環境ソリューション 取締役 執行役員
プロセス機器事業部長 (新任)

(2) 標準化の推進

JIS B 8249 (多管円筒形熱交換器) の改正について、改正事項の確認を行った。

(3) 調査研究の実施

化学機械分野における環境対応、省エネルギー技術の情報交換を行った。

(4) 講演会の実施

2016 (平成 28) 年 7 月 1 日に次の通り開催した。

テーマ：化学プラント機器に求められる溶接品質と溶接技術

講師：新谷 大介 殿 木村化工機株式会社 開発部 材料技術チーム 主任

(5) 関連施設調査の実施

2016 (平成 28) 年 9 月 8 日に新和工業株式会社を訪問し、材料加工機械の視察を行った。

4. 環境装置部会

(1) 統計調査の実施と分析

環境装置産業の装置別生産・輸出実績に関する調査を実施し、国内外の関係先に広く配布し参考に供した。

(2) 標準化の推進

規格対応ワーキンググループを設置し、当工業会が原案作成団体となっている環境関連 JIS のうち、改訂が必要な JIS を検討した。

(3) 環境関連技術等に関する調査研究の実施

ア. 環境装置産業の事業展開に関する調査研究

環境装置産業としてのビジネスチャンス拡大に向け、地方自治体等へのアンケート及びヒアリング調査を行うと共に、PPP 案件の各段階で民間事業者が取り組むべき事項、留意すべき事項等に関する PPP の民間マニュアルを取りまとめた。

イ. 新環境ビジネスの創出に関する調査研究

新たな環境ビジネスに関する考察及び講演会等を行った。

a. 今後成長が期待される分野に関する調査研究

水素や人工光合成、藻類など、新しいエネルギー源に関する現状や研究開発動向、今後の課題について情報収集した。

b. 新たな水環境ビジネスに関する調査研究

国内外における水関連事業に関する新たな動向を調査し、今後の水環境ビジネスに求められる技術や課題を抽出した。

c. 先端技術に関する調査研究

実用化に至っていない技術や、研究段階にある技術を「先端技術」と位置付け、その動向を調査した。

d. バイオマス発電に関する調査研究

バイオマス発電導入拡大の可能性を探るため、市場動向、エネルギー政策、固定価格買取制度、電力システム改革、発電技術・事業の動向調査を行った。

e. リサイクルの高度化に関する調査研究

家電や自動車等のリサイクル技術の高度化及び事業機会の創出を図るため、環境装置メーカーとリサイクル事業者との情報交換を行うと共に、シュレッダーダスト等の混合廃棄物の利活用等に関する技術、新素材のリサイクル技術及び、将来のリサイクルビジネス拡大に向けた課題の整理を行った。

f. セミナー、講演会、施設調査等の実施

① 3R リサイクルセミナー [2017 (平成 29) 年 3 月 21 日]

・リサイクルビジネスを取り巻く動向

テーマ：サーキュラー・エコノミーによるリサイクルビジネスの新展開
ー潜在価値から利益を創造する新成長モデルー

講師：和氣 忠 殿 アクセンチュア株式会社
戦略コンサルティング本部
マネジング・ディレクター

テーマ：IoT によるリサイクルビジネスのイノベーションの可能性

講師：林 孝昌 殿 一般社団法人資源循環ネットワーク 代表理事

テーマ：日本における廃棄物リサイクル分野での取り組み

講師：本田 大作 殿 ヴェオリア・ジャパン株式会社
プラスチックリサイクル本部 本部長

・リサイクル技術の動向

テーマ：パルス破碎システムを利用したリサイクル技術

講師：松井 卓也 殿 パナソニック株式会社
生産技術本部 環境生産革新センター
循環型モノづくりソリューション開発部 部長

テーマ：炭素繊維強化樹脂 (CFRP)、セルロースナノファイバー (CNF) と自動車
の未来

講師：影山 裕史 殿 金沢工業大学 大学院 工学研究科
高信頼ものづくり専攻 教授

テーマ：情報利用によるリサイクル中間処理の高度化

講師：大木 達也 殿 国立研究開発法人産業技術総合研究所
環境管理研究部門 総括研究主幹

テーマ：CE とリサイクル技術

講師：中村 崇 殿 東北大学 多元物質科学研究所 教授

・資源循環政策の動向

テーマ：気候変動・資源循環に係る国際的動向

講師：梅田 英幸 殿 経済産業省 産業技術環境局
リサイクル推進課 課長補佐

テーマ：産業廃棄物関連政策の今後の展望

～バーゼル法・廃棄物処理法の見直しを中心に～

講師：相澤 寛史 殿 環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部
企画課 廃棄物・リサイクル制度企画室長

② 新たな環境ビジネス創出に関する講演会

2016（平成28）年5月12日

テーマ：三菱樹脂グループが提案する KAITEKI な植物工場システム

講師：手塚 光晴 殿 三菱樹脂株式会社 農業資材部
植物工場推進グループ グループマネージャー

2016（平成28）年5月25日

テーマ：水素社会実現に向けた現状と今後の展望～最新動向について～

講師：池松 正樹 殿 東京工業大学大学院 物質理工学院
リサーチフェロー

2016（平成28）年6月9日

テーマ：電力自由化でのビジネスチャンス

講師：江田 健二 殿 一般社団法人 エネルギー情報センター（EIC）
理事

テーマ：ウォーターフットプリントの開発と活用ー水に関わる環境影響を
ライフサイクルの視点から測るー

講師：伊坪 徳宏 殿 東京都市大学 環境学部
環境マネジメント学科 教授

2016（平成28）年6月14日

テーマ：日本海の表層型メタンハイドレートについて

講師：松本 良 殿 明治大学 ガスハイドレート研究所 特任教授

2016（平成28）年7月8日

テーマ：再生可能エネルギー導入拡大とバイオマス発電

講師：吉野 欣臣 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー対策課 課長補佐

2016（平成28）年7月12日

テーマ：電力システム改革と電力広域的運営推進機関の役割について

講師：石坂 匡史 殿 電力広域的運営推進機関 企画部 部長

2016（平成28）年7月14日

テーマ：日立造船㈱の焼却プラント海外展開の紹介

講師：藤本 佳憲 殿 日立造船株式会社 環境事業本部
グローバル事業推進部 担当課長

2016（平成28）年7月20日

テーマ：バイオミクリー（バイオメテックス）の可能性～自然をまね
る、自然を活かす～ ～環境と経済の両立を目指して～

講 師：長島 孝行 殿 東京農業大学 農学部 昆虫機能開発研究室
教授

2016（平成28）年8月4日

テーマ：大変革時代の科学技術イノベーション政策-超スマート社会実現に
向けた第5期科学技術基本計画-

講 師：中西 宏典 殿 元・内閣府 大臣官房審議官
(科学技術・イノベーション担当)

2016（平成28）年8月19日

テーマ：ファインバブル（マイクロナノバブル）の基礎と環境分野への応
用

講 師：高橋 正好 殿 国立研究開発法人産業技術総合研究所
環境管理研究部門 研究主幹

2016（平成28）年9月13日

テーマ：官民連携による地域エネルギー事業について

講 師：松井 英章 殿 株式会社日本総合研究所
リサーチ・コンサルティング部門 マネジャー

2016（平成28）年9月14日

テーマ：スチームスターをはじめとした低温排熱・未利用熱利用技術の動
向と展望

講 師：上原 一浩 殿 神鋼リサーチ株式会社 理事
産業戦略情報本部 調査三部 部長

2016（平成28）年9月15日

テーマ：メタン発酵技術の現状と課題、動向

講 師：李 玉友 殿 東北大学 大学院 工学研究科 教授

2016（平成28）年9月27日

テーマ：PV設備等のガラス高度再資源化システムに関する研究と展望

講 師：加藤 聡 殿 ガラス再資源化協議会 代表幹事

2016（平成28）年9月28日

テーマ：大雨災害における国・自治体の取組と技術的課題

講 師：多田 直人 殿 内閣府 政策統括官（防災担当）付
参事官（調査・企画担当）付 参事官補佐

2016（平成28）年10月3日

テーマ：エネルギー・環境イノベーション戦略

講 師：鷹觜 利公 殿 内閣府 政策統括官
(科学技術・イノベーション担当) 付
ディレクター

2016（平成28）年10月24日

テーマ：使用済太陽光発電設備のリユース・リサイクル・適正処分を巡る
動向

講 師：泉 知行 殿 環境省 大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
リサイクル推進室 室長補佐

2016 (平成 28) 年 10 月 26 日

テーマ：未利用熱の活用を支える化学蓄熱

講師：小林 敬幸 殿 名古屋大学 大学院 工学研究科
化学・生物工学専攻 分子化学工学分野 准教授

2016 (平成 28) 年 11 月 2 日

テーマ：排ガス中の水銀排出規制の動向

講師：高岡 昌輝 殿 京都大学 大学院 地球環境学堂 教授

2016 (平成 28) 年 11 月 8 日

テーマ：AI の更なる普及に向けた課題と展望 環境・エネルギー分野への可能性

講師：中島 秀之 殿 東京大学 大学院 情報理工学系研究科
知能機械情報学専攻 特任教授

2016 (平成 28) 年 11 月 18 日

テーマ：生物を用いた水環境の評価・管理（改善）手法に関する検討について

講師：甲斐 文祥 殿 環境省 水・大気環境局 水環境課
排水基準係 主査

2016 (平成 28) 年 11 月 24 日

テーマ：汚泥の有効利用に向けて/メタン活用いしかわモデルについて

講師：山根 正義 殿 石川県 環境部 水環境創造課 専門員

2016 (平成 28) 年 12 月 6 日

テーマ：情報技術の転換点とその先

講師：川原 圭博 殿 東京大学 大学院 情報理工学系研究科
准教授

2016 (平成 28) 年 12 月 14 日

テーマ：リサイクルの政策上の意義について

(容器包装リサイクル制度の課題と再生樹脂の品質管理)

講師：井出 大士 殿 経済産業省 産業技術環境局
リサイクル推進課 課長補佐

2016 (平成 28) 年 12 月 16 日

テーマ：人工光合成技術の研究開発動向

講師：天尾 豊 殿 大阪市立大学 複合先端研究機構 教授
人工光合成研究センター 所長

2017 (平成 29) 年 1 月 25 日

テーマ：排水処理と水耕栽培のデュアルプラント普及の可能性
～豊川バイオマスパーク構想の成果と課題～

講師：大門 裕之 殿 豊橋技術科学大学
グローバル工学教育推進機構
国際交流センター 教授

2017（平成 29）年 1 月 26 日

テーマ：Asia Biomass Community 構想～アジアにおけるバイオマスエネルギー事業展開～

講師：澤 一誠 殿 NPO 法人農都会議 バイオマス WG 座長

テーマ：木質バイオマス燃料をめぐるグローバル動向

講師：船橋 里美 殿 株式会社富士経済 大阪マーケティング本部
環境・エネルギー部門 主査

2017（平成 29）年 1 月 27 日

テーマ：熱電発電技術の応用開発事例とスタック型熱電発電ユニットの開発と応用技術

講師：山本 淳 殿 国立研究開発法人産業技術総合研究所
つくば中央第 2 事業所
エネルギー・環境領域 省エネルギー研究部門
熱電変換グループ長

2017（平成 29）年 1 月 30 日

テーマ：CFRP（炭素繊維強化プラスチック）のリサイクル技術の開発動向と標準規格化の役割

講師：加茂 徹 殿 国立研究開発法人産業技術総合研究所
環境管理研究部門 資源精製化学研究グループ
上級主任研究員

2017（平成 29）年 2 月 21 日

テーマ：木質バイオマス発電施設の動向について

講師：菅野 明芳 殿 株式会社 森のエネルギー研究所
取締役 営業部長

2017（平成 29）年 3 月 2 日

テーマ：ビッグデータ時代のオープンイノベーション戦略

講師：元橋 一之 殿 東京大学 工学系研究科 教授

2017（平成 29）年 3 月 9 日

テーマ：ユーグレナの産業利用の現状と今後の可能性

講師：鈴木 健吾 殿 株式会社ユーグレナ 取締役 研究開発部長

2017（平成 29）年 3 月 10 日

テーマ：ネガワットについての取り組みのご紹介

講師：松澤 茂雄 殿 株式会社 東芝
エネルギーシステムソリューション社
ソリューション&サービス事業部
エネルギーIoT 事業開発部 主幹

③ 新たな環境ビジネス創出に関する施設調査

2016（平成 28）年 5 月 30 日～6 月 4 日

欧州リサイクル技術調査

・Behrendt Recycling GmbH（ドイツ・ノイミュンスター）

- 〔ドイツ国内における WEEE（廃電気・電子機器）リサイクル施設〕
- ・MBA Neumünster GmbH（ドイツ・ノイミュンスター）
〔家庭混合ごみの MBT（Mechanical Biological Treatment：機械的・生物的処理）、RDF 製造施設〕
- ・IFAT（ドイツ・ミュンヘン）
（国際上下水処理・廃棄物処理・再資源化技術専門見本市）
- ・AVA Abfallverwertung Augsburg GmbH（ドイツ・アウグスブルク）
（一般廃棄物による廃棄物発電及び有機性廃棄物のバイオマス利用施設）
- ・Münchner Recycling GmbH（ドイツ・ガルヒング）
（廃プラスチックや古紙等の中間処理施設）
- ・ZenRobotics 社（フィンランド・ヘルシンキ）
〔人工知能（AI）搭載のロボット選別システム〕
- ・SUEZ 社 Helsinki 工場（フィンランド・ヘルシンキ）
〔人工知能（AI）搭載のロボット選別システムを導入した廃棄物処理施設〕

2016（平成 28）年 6 月 16 日

北海道次世代施設園芸コンソーシアム 苫東ファーム株式会社
（太陽光利用型植物工場）

いわみざわ環境クリーンプラザ「いわ☆びか」
（焼却施設及びリサイクル施設、浸出水処理施設）

2016（平成 28）年 6 月 17 日

鹿追町環境保全センター（バイオガスプラントからの余剰熱活用施設）

2016（平成 28）年 6 月 24 日

上野村バイオマス発電施設、木質ペレット工場
（小型木質ガス化発電装置及び燃料となるペレットの製造工場）

2016（平成 28）年 7 月 6 日

株式会社東芝 東芝クリーンルームファーム横須賀
（完全人工光型の植物工場）

2016（平成 28）年 8 月 24 日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
九州沖縄農業研究センター 植物工場 九州実証拠点
（太陽光利用・完全人工光型植物工場）

2016（平成 28）年 8 月 25 日

佐賀市下水浄化センター
（バイオガス中の CO₂ 分離・回収と微細藻類培養への利用技術実証事業）
九州大学 水素材料先端科学研究センター
（燃料電池自動車や水素インフラ整備のために必要な金属材料等に関する研究施設）

- 2016（平成 28）年 9 月 9 日
Volter Japan 株式会社 本社（木質チップガス化発電設備）
北秋容器株式会社 木質チップ工場（木質チップの製造工場）
- 2016（平成 28）年 9 月 20 日
釜石・大槌地区汚泥再生処理センター
〔ASB（土壌微生物活性化）システムを適用した汚泥処理施設〕
- 2016（平成 28）年 9 月 21 日
新日鐵住金株式会社 釜石製鐵所（バイオマス混焼石炭火力発電所）
岩手中部クリーンセンター
（ストーカ炉及びセメント資源化方式による焼却施設）
- 2016（平成 28）年 10 月 15 日
実証実験施設 藻類バイオマス生産開発拠点
（土着藻類によるバイオマス生産技術の開発実証事業）
- 2016（平成 28）年 10 月 19 日
小名浜製錬株式会社
（廃自動車から発生するシュレッダーダストの活用施設）
- 2016（平成 28）年 10 月 21 日
首都圏外郭放水路（世界最大級の地下放水路）
- 2016（平成 28）年 10 月 31 日
守谷浄化センター
（ICT を活用した下水道施設の劣化状況把握・診断技術の実証事業）
- 2016（平成 28）年 11 月 4 日
オオブユニティ株式会社 横根バイオガス発電施設
（食品廃棄物を原料とするバイオマス発電施設）
- 2016（平成 28）年 11 月 16 日
三ツ石浄水場
（民間主体による官民連携の水道事業運営）
- 2016（平成 28）年 11 月 24 日
佐賀大学 海洋エネルギー研究センター（海洋エネルギー研究施設）
- 2016（平成 28）年 11 月 25 日
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 西海区水産研究所
まぐろ増養殖研究センター（クロマグロ等の増養殖の研究開発）
- 2016（平成 28）年 11 月 30 日
三宝下水処理場及びイオンモール鉄炮町店（堺市下水再生水複合利用事業）
- 2016（平成 28）年 12 月 2 日
株式会社シタラ興産 サンライズ FUKAYA 工場
〔人工知能（AI）を搭載したロボットを利用した産業廃棄物の選別施設〕
- 2017（平成 29）年 1 月 17 日
株式会社那珂川バイオマス
（木質バイオマス発電所及び製材工場等排熱利用施設）

2017（平成 29）年 1 月 31 日

防府市クリーンセンター

（選別施設・バイオガス化施設・ごみ焼却施設・リサイクル施設を組み合わせ
たごみ処理複合施設）

2017（平成 29）年 2 月 1 日

萩・長門清掃工場はなもゆ

（バイナリー発電装置、スターリングエンジンを排熱利用に適用したごみ
焼却エネルギー回収施設）

2017（平成 29）年 2 月 6 日

永興物産株式会社 本社工場（プラスチックコンパウンド施設）

2017（平成 29）年 2 月 10 日

横浜環境保全株式会社 金沢営業所

（事業系一般廃棄物堆肥化・燃料化施設）

2017（平成 29）年 2 月 14 日

北総浄水場 排水処理施設（PFI 事業）

2017（平成 29）年 2 月 24 日

埼玉県庁〔スマート水素ステーション（SHS）〕

2017（平成 29）年 3 月 14 日

練馬清掃工場（高効率発電を実現した水平ストーカ式ごみ焼却施設）

2017（平成 29）年 3 月 23 日

千代田化工建設株式会社 子安オフィス・リサーチパーク

（水素供給事業化実証プラント）

ウ．クリーンルーム関連情報等調査の実施

国内の市場動向等について情報収集を行った。

（４）環境技術情報の発信

会員企業の環境技術や装置・機器に関する情報を系統的に取りまとめ、ウェブサイト上で広く提供した。

（５）国際交流の推進と情報収集

環境装置メーカーの海外展開に資する支援事業について、講演会を開催し情報収集を行った。

2016（平成 28）年 11 月 30 日

テーマ：国際協力機構（JICA）の民間連携事業

講師：関 智子 殿 独立行政法人国際協力機構

民間連携事業部 連携推進課 主任調査役

（６）シンポジウム、講演会及び施設調査等の実施

ア．環境関連施策及び環境産業の動向に関する講演会

a．2016（平成 28）年 4 月 15 日

テーマ：エネルギー・環境イノベーション戦略展開について

講師：柏木 孝夫 殿 東京工業大学 特命教授・名誉教授

b. 2016（平成 28）年 11 月 30 日

テーマ：環境ビジネスのヒントにするための審議会情報（上期）について

講師：高島由布子 殿 株式会社三菱総合研究所

環境・エネルギー事業本部

次世代環境ビジネスグループ グループリーダー

c. 2017（平成 29）年 3 月 30 日

テーマ：環境ビジネスのヒントにするための審議会情報（下期）について

講師：高島由布子 殿 株式会社三菱総合研究所

環境・エネルギー事業本部

次世代環境ビジネスグループ グループリーダー

イ. 環境関連施設調査

a. 2016（平成 28）年 10 月 27 日

① 住友重機械工業株式会社 新居浜工場

（鍛造プレス、陽子線がん治療装置のガントリー等）

② 住友重機械搬送システム株式会社 新居浜事業所

（造船用ゴライアス・ジブクレーン等の内業工場、屋外組立ヤード）

b. 2016（平成 28）年 10 月 28 日

松山市西クリーンセンター（全連続燃焼式ストーカ炉及びプラズマ式溶融炉）

（7）関係行政機関及び関連団体への協力

ア. 環境省への協力

環境技術実証事業運営委員会に委員を派遣した。

イ. 優良環境装置協議会への協力

優良環境装置協議会の実施する各種事業に協力した。

ウ. 関連団体への協力

一般社団法人産業環境管理協会、公益社団法人日本空気清浄協会、一般財団法人造水促進センター、日本産業洗浄協議会、一般財団法人海外産業人材育成協会等が実施した事業に協力した。

5. タンク部会

（1）役員改選

2016（平成 28）年 6 月 30 日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：倉田 一郎 JX エンジニアリング株式会社 代表取締役社長（新任）

副部会長：石井 宏明 株式会社石井鐵工所 常務取締役 鉄構事業統括本部長

（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

産業動向等を把握するため、関連機械の動向の調査を行った。

(3) 標準化の推進

2013（平成 25）年度に改正発行された JIS B 8501（鋼製石油貯槽の構造）の改正経緯を取りまとめた。

(4) 調査研究の実施

- ア. タンク関連の災害対応技術、関連規格及び関連法令について情報収集を行った。
- イ. タンク分野の国内、海外市場の動向について情報交換を行った。

(5) 施設調査の実施

2016（平成 28）年 10 月 20 日に JFE スチール株式会社 西日本製鉄所を訪問し、高炉、転炉及び厚板製造ライン等の施設の視察を行った。

(6) 講演会の実施

2016（平成 28）年 6 月 30 日に次の通り開催した。

テーマ：長周期地震動によるタンク被害と対策

講師：山内 芳彦 殿 JX エンジニアリング株式会社 顧問

(7) 関係行政機関及び関連団体への協力

- ア. 消防庁の屋外タンク貯蔵所の耐震安全性に係る調査検討会に委員を派遣し、調査・検討に協力した。
- イ. 危険物保安技術協会の屋外タンク貯蔵所に関する耐震安全性確認のためのワーキンググループに委員を派遣し、調査・検討に協力した。
- ウ. 一般社団法人日本高圧力技術協会の石油タンクの防食および腐食管理指針（HPIS G105TR）改訂委員会に委員を派遣し、調査・検討に協力した。

6. プラスチック機械部会

(1) 統計調査の実施と分析

ア. 関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

イ. 射出成形機、押出成形機、ブロー成形機の 3 機種について、主要ユーザ業界及び海外主要国の市場動向を調査し、「プラスチック機械産業の市場動向調査報告書」を公表した。

(2) 標準化の推進

ア. ISO/TC270（プラスチック加工機械及びゴム加工機械）について、国内審議委員会

(射出成形機分科会、押出成形機分科会、ブロー成形機分科会)において国際回答原案の作成及び国際会議への対応を協議した。

イ. 2016(平成28)年9月26日~29日にISO/TC270/WG1(射出成形機の安全)国際会議を日本で開催した。

ウ. JIS B 8650(プラスチック加工機械-用語)の改正について検討した。

(3) 機械安全の推進

ア. 射出成形機の周辺機器の設置に係る必須安全対策を検討した。

イ. 射出成形機の重要点検品目の故障リスクを検討し、その結果を「射出成形機の部品故障によるリスクの評価と対策としての点検頻度一覧表」として工業会WEBサイトで公開した。

(4) 関連情報収集等調査の実施

ア. プラスチック機械に関する米国、中国及び欧州の特許情報について調査及び検討を行った。

イ. 二軸押出機の海外輸出規制に係る現状と課題について検討した。

ウ. 世界各国で開催されたプラスチックに関する展示会について情報収集を行った。

(5) 国際交流の推進

欧州プラスチック機械工業会(EUROMAP)及び米国プラスチック産業協会(PLASTICS)と統計の交換を実施した。

(6) 関連団体との交流

日本プラスチック機械工業会と情報交換等を行った。

7. 風水力機械部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する生産等の統計調査を行い、産業動向の分析を行った。

(2) 標準化の推進

ア. JIS B 8301(遠心ポンプ,斜流ポンプ及び軸流ポンプ-試験方法)改正原案の作成を行った。

イ. ISO/TC115(ポンプ)国際回答原案の作成及び国際会議へ委員を派遣した。

ウ. JIS B 8327(模型によるポンプ性能試験方法)の国際規格(ISO/TR:テクニカルレポート)化作業を行った。

エ. ISO/TC117(送風機)及びISO/TC118(圧縮機)に関する通知内容を確認・検討した。

(3) 機械安全の推進

ア. 「汎用ポンプ 保守管理について」を改正した。

イ。「ロータリ・ブロワ 運転管理について」を改正した。

(4) 風水力機械関連の情報提供

- ア. 高効率モータ、ポンプ、送風機等に関する最新情報を提供した。
- イ. ポンプ、送風機等に関する最新情報をメールマガジン等で提供した。
- ウ. 「風水力機械産業の現状と将来展望」(2016年～2020年)を発行した。
- エ. メカニカルシール委員会の創立30周年を記念し、冊子「30年の歩み」を作成した。

(5) 技術セミナー・講演会等の開催

次の技術セミナー等を開催した。

- ア. ポンプ技術者連盟 技術セミナー〔2016(平成28)年7月5日〕
テーマ：ものづくりのプロセスを革新するストラタシスの
3Dプリンティングソリューション
講師：小山 丈博 殿 ストラタシス・ジャパン株式会社 営業開発課
テーマ：「風水力機械産業の現状と将来展望」の解説
講師：田村 功一 殿 新明和工業株式会社 流体事業部 小野工場 工場長
滝川 徹 殿 株式会社荏原製作所 富津工場 立型ポンプ設計室長
- イ. 送風機技術者連盟 技術講習会〔2016(平成28)年9月15日〕
テーマ：騒音エンジニアリング入門
講師：高津 恭 殿 株式会社日立テクノロジーアンドサービス
代表取締役
テーマ：「風水力機械産業の現状と将来展望」の解説
講師：野村 育生 殿 株式会社電業社機械製作所 生産本部
気体機械設計部長
- ウ. メカニカルシール講習会〔2016(平成28)年7月14日〕
テーマ：メカニカルシールの基礎及びトラブル事例とその対策
講師：メカニカルシール委員会 技術分科会
- エ. プロセス圧縮機講演会〔2017(平成29)年2月22日〕
テーマ：オイル&ガスの世界的動向について
講師：野神 隆之殿 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構
調査部 主席エコノミスト

(6) 関係省庁及び関連団体への協力

- ア. 国土交通省の要請に応じ、「建築設備設計基準/計画基準 平成 25 年版」の改訂に協力した。
- イ. 一般社団法人建築保全センターの要請に応じ、「建築保全業務共通仕様書 平成 25 年版」の改訂に協力した。
- ウ. 一般社団法人公共建築協会の要請に応じ、「機械設備工事機材承諾図様式集」の改訂に協力した。
- エ. 一般社団法人地域環境資源センターの「省エネ技術導入実証検討委員会」に委員を派遣し、農業集落排水設備の省エネルギー化についての検討に協力した。

オ. 一般社団法人地域環境資源センターの「農業集落排水施設長寿命化対策等検討委員会」に委員を派遣し、農業集落排水設備の長寿命化についての検討に協力した。

8. 運搬機械部会

(1) 統計調査の実施

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を把握した。

(2) 標準化の推進

ア. JIS 規格への対応

- a. JIS Z 0620 (産業用ラック)、JIS Z 0110 (産業用ラック用語) については、改正原案作成委員会において改正原案を作成した。また、JIS B 0140 (コンベヤ用語一種類)、JIS B 2809 (ワイヤグリップ) については改正原案作成委員会において改正原案を作成中。
- b. JIS B 8825 (仕分けコンベヤ)、JIS B 0140 (コンベヤ用語一種類)、JIS B 0141 (コンベヤ用語一部分・付属機器ほか)、JIS B 2809 (ワイヤグリップ) の改正案の検討を行った。
- c. JIS B 0148 (巻上用一用語)、JIS B 8804 (鋼製ローラコンベア)、JIS B 8808 (ポータブルコンベヤ)、JIS B 8942 (立体自動倉庫システム一設計通則) の改正について検討した。

イ. ISO・IEC 等国际規格への対応

- a. ISO/TC111 (丸鋼製リンクチェーン、チェーンスリング、構成要素部品及び付属品) 及び ISO/TC111/SC3 (構成要素部品及び付属品) の国際幹事国として、TC 及び SC の運営等を行うと共に、国際会議に出席した。
- b. ISO/TC111 国内審議団体として、シャックルに関する ISO 2415 の国際回答原案を作成した。

ウ. 団体規格への対応

- a. 自動倉庫の運転履歴管理に関し、引き続き、JIMS 化の検討を行った。
- b. ISO 25745-1 (エレベーターのエネルギー性能/エネルギー消費量の測定および検証)、ISO 25745-2 (エネルギー消費の定義と区分) について和訳・内容検討を行い、「エレベーターの国際エネルギー製造基準調査報告書」として取りまとめた。

(3) 機械安全の推進

ア. 機械安全警告ラベルの見直しと安全に関するガイドラインについて引き続き検討を行った。

イ. ベルトコンベヤ設備保守・点検業務に関するガイドラインの見直しを引き続き行った。

ウ. コンベア及び立体自動倉庫のリスクアセスメントに係るガイドライン素案を引き続き作成した。

(4) 海外動向調査の実施

2016(平成28)年5月31日～6月3日に、ドイツ ハノーバー国際見本市会場で開催された、CeMAT2016(国際インフラロジスティクス見本市)に関係者を派遣し、最新の物流機器事情等の調査を行った。

(5) 展示会等の開催

2016(平成28)年9月13日～16日に、東京国際展示場(東京ビッグサイト)において、「国際物流総合展2016/LOGIS-TECH TOKYO 2016」を共催した。

(6) 講演会及び施設調査の実施

ア. 講演会

2016(平成28)年7月22日に次の講演会を開催した。

テーマ:「新市場創造型標準化制度」等について

講師:石垣 康三 殿 一般財団法人日本規格協会 規格開発ユニット
規格管理部長兼務規格開発部長

イ. 施設調査

a. 2016(平成28)年6月10日

株式会社でん六 蔵王の森工場を訪問し、食品製造工程等の視察をした。

b. 2016(平成28)年8月26日

雪印メグミルク株式会社 なかしべつ工場を訪問し、乳製品製造ラインの視察をした。

c. 2016(平成28)年10月20日

ホクショー株式会社を訪問し、垂直コンベヤ製造ラインの視察をした。

d. 2016(平成28)年11月18日

広島県尾道市の多々羅大橋主塔を訪問し、傾斜式昇降機の視察をした。

e. 2016(平成28)年11月25日

長崎県長崎市の池島炭鉱を訪問し、旧炭鉱内部の視察をした。

f. 2016(平成28)年11月29日

株式会社福島製作所を訪問し、船用機械(甲板機械等)製造工場の視察をした。

g. 2016(平成28)年12月9日

大塚製薬株式会社 袋井工場を訪問し、清涼飲料水製造ラインの視察をした。

h. 2016(平成28)年12月9日

NTN株式会社 桑名製作所及び株式会社NTN 三重製作所を訪問し、ベアリング製造ラインの視察をした。

i. 2017(平成29)年3月1日

東芝機械株式会社 御殿場工場を訪問し、工作機械製造工場の視察をした。

j. 2017(平成29)年3月10日

キューピー株式会社 富士吉田工場を訪問し、マヨネーズの製造ラインの視察をした。

- (7) 関係行政機関及び関連団体等との交流
経済産業省、関係省庁及び一般財団法人日本規格協会等関連団体との交流を図った。

9. 動力伝導装置部会

- (1) 統計調査の実施と分析
関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。
- (2) 関連情報収集等調査の実施
ア. 国内外の市場動向等について情報収集、調査等を行った。
イ. 海外調査団〔2016（平成28）年11月24～7日〕
台湾に調査団を派遣し、金豊機器工業（彰化市）を訪問してプレス機械の生産設備の見学を、また、三隆齒輪（台南市）を訪問してギヤボックスの製造ライン等の見学をした。これに合わせて、台湾における製造業の現状と課題、市場動向、将来展望等について意見交換を行った。
- (3) 国内外の規制等に関する調査の実施
海外各国の三相誘導電動機の効率規制について調査を行い、対応を検討した。
- (4) 施設調査の実施
2016（平成28）年6月17日に株式会社日本製鋼所 広島製作所を訪問し、プラスチック加工機械の生産ラインの見学を行った。

10. 製鉄機械部会

- (1) 役員改選
2016（平成28）年8月10日の部会総会において次のとおり選任した。
部会長：白石 宏司 新日鉄住金エンジニアリング株式会社
取締役 常務執行役員（新任）
副部会長：片平 公平 Primetals Technologies Japan株式会社
営業第一部 部長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(3) 関連情報収集等調査の実施

国内外の市場動向、海外展示会、国内製鉄所の重大事故例及び関連団体等の対応について情報収集、調査等を行った。

(4) 講演会の実施

2016（平成28）年8月10日に次の講演会を行った。

テーマ1：素形材産業の現状と課題

講師：坪川 薫 殿 経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長補佐

テーマ2：金属業界の現状と課題

講師：佐藤 淳一 殿 経済産業省 製造産業局 金属課 係長

テーマ3：金属関連技術開発プロジェクト

講師：佐々木忠則 殿 経済産業省 製造産業局 金属課 金属技術室
課長補佐

テーマ4：産業界におけるIoTやAIの活用と今後の取り組みについて

講師：井上 和佳 殿 新日鉄住金ソリューションズ株式会社
IoXソリューション事業推進部 専門部長

(5) 関連行政機関及び関連団体等との交流

今後の製鉄機械業界及び鉄鋼業界の需要動向について、経済産業省及び一般社団法人日本工業炉協会会員企業と意見交換を行った。

11. 業務用洗濯機部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を実施し、産業動向等について調査・分析を行った。

(2) エネルギー及び環境関連の情報収集と対応策の検討

ア. 環境、安全、衛生、及び省エネルギー対策技術の情報交換を行った。

イ. クリーニング機械の基礎技術〔2004（平成16）年5月23日発行〕の改正版を取りまとめた。

(3) 関連分野の動向調査

国内、海外市場の動向を調査し、情報交換を行った。

(4) 海外調査の実施

2016（平成 28）年 6 月 11 日～15 日にドイツ・フランクフルトで開催された「Texcare International 2016」へ調査団を派遣し、海外業務用洗濯機の技術動向、需要等の調査を行った。

（5）関連団体等との協力

日本クリーニング用洗剤同業会と技術動向について情報交換を行った。

12. エンジニアリング部会

（1）調査研究の実施

水素利活用の推進に向けて、水素ステーション仕様、規制緩和状況、高圧容器の開発状況、燃料電池及び燃料電池自動車の普及状況、大量輸送の開発状況、最新製造方法の動向等について調査を行った。

（2）施設調査の実施

2016（平成 28）年 11 月 24 日に九州電力株式会社 大霧地熱発電所を訪問し、蒸気設備、発電設備などの視察を行った。

（3）講演会の実施

2016（平成 28）年 7 月 21 日

テーマ：IBM Watson 概要と最新適用事例

講師：元木 剛 殿 日本アイ・ビー・エム株式会社 理事

（4）PCI/LF 委員会への協力

2005（平成 17）年度より PCI（プラントコストインデックス）/LF（ロケーションファクター）委員会（日本機械輸出組合主催）の調査研究に参加し、2016（平成 28）年度版の作成に協力した。

Ⅲ 委員会関係

1. 政策委員会

(1) 委員会

2016（平成28）年度は8回開催し、当工業会の事業運営事項について企画・立案・審議すると共に、法務問題や税制のあり方等について審議し、理事会等へ上程した。

なお、開催状況は次のとおり。

ア. 第484回〔2016（平成28）年4月21日〕

- a. 2015（平成27）年度事業報告（案）及び2015（平成27）年度決算報告（案）
- b. 決議（案）
- c. 2016（平成28）年度産業機械工業功績者表彰候補者（案）

イ. 第485回〔2016（平成28）年6月16日〕

ウ. 第486回〔2016（平成28）年7月15日〕

講演

テーマ：IoTによる製造ビジネス変革 WG 産業機械サブ幹事会活動状況
ースマートマニュファクチュアリングの実践ー

講師：潮崎 雄治 殿 経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐

テーマ：プラスチック企業におけるシステムオープン化実証事業

講師：当工業会 事務局（産業機械第2部）

エ. 第487回〔2016（平成28）年9月15日〕

平成29年度税制改正要望（案）

オ. 第488回〔2016（平成28）年10月18日〕

- a. 関西大会における提言（案）
- b. 環境自主行動計画の改訂

カ. 第489回〔2016（平成28）年12月16日〕

「環境活動基本計画」フォローアップ調査実施報告

キ. 第490回〔2017（平成29）年2月17日〕

2017（平成29）年度産業機械の受注見通し（案）

ク. 第491回〔2017（平成29）年3月21日〕

2017（平成29）年度事業計画（案）及び2017（平成29）年度収支予算（案）

(2) 税制小委員会

2017（平成29）年度税制改正にあたり、会員からの要望・意見を集約、検討して、政策委員会に上程した。

2. 労務委員会

(1) 委員会

雇用、賃金、関係法令等の労働情勢を確認し、労使協調を基盤とした労務対策の研究及び推進を図ることを目的に、次のとおり開催した。

ア. 2016（平成28）年7月度委員会（7月22日）

- a. 2016（平成28）年度賃金・夏季賞与状況
- b. 不動産使用料等の支払調書の取扱い
- c. 安全運転管理者の選任等
- d. 組織構築ルールの策定

イ. 2016（平成28）年10月度委員会（10月28日）

- a. 2016（平成28）年度年末賞与状況
- b. 2017（平成29）年度採用状況
- c. 新入社員研修（自動車教習所での講習）
- d. ストレスチェックの実施状況
- e. 各事業所における福利厚生（給茶機・自動販売機）

ウ. 2016（平成28）年12月度委員会（12月2日）

- a. 2016（平成28）年度年末賞与状況
- b. 女性活躍推進法への対応
- c. 公的資格取得に関する報奨金等

エ. 2017（平成29）年3月度委員会（3月29日）

- a. 2017（平成29）年度賃金・夏季賞与状況
- b. 旅費規程における役職別の日当と宿泊費
- c. 人事評価制度の現状
- d. 労務（勤怠）管理・残業削減への対応
- e. 「働き方改革」への対応状況

(2) 施設見学会の実施

2016（平成28）年7月22日に新興プランテック株式会社 トレーニングセンター（神奈川県横浜市）を訪問し、人材育成への取組み等について説明を受け、施設見学を行った。

(3) 労働・雇用状況等の調査

労働、雇用に関する調査を行った。

ア. 2016（平成28）年度賃金状況調査

イ. 2016（平成28）年度夏季賞与状況調査

ウ. 2016（平成28）年度年末賞与状況調査

エ. 一般社団法人日本経済団体連合会への調査協力

- a. 2016（平成28）年度福利厚生費調査
- b. 業種別賃金・労務厚生等調査

3. 貿易委員会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2016（平成28）年9月6日の委員会において、次のとおり選任した。

委員長：小橋 亙 日立造船株式会社 常務取締役 機械事業本部長（再任）

(2) 産業機械貿易振興事業

ア. ジェトロ・ウィーン及びシカゴ・事務所に当工業会の担当窓口を設置し、産業機械に関する市場調査、各種情報収集、引合・斡旋及び広報活動等を実施した。

ウィーン担当：藤田 侑士

シカゴ担当：高橋 貴洋

イ. 北米、欧州地域、中近東諸国、アフリカ諸国における産業機械関連の調査を実施した。調査内容は、毎月「海外情報」に取りまとめ、会員等関係者への配布及びウェブサイトでの情報提供を行った。

ウ. 産業機械の海外市場拡大のための市場環境及びわが国並びに関係諸外国の貿易政策等の情報収集を行い、会員企業の海外活動を支援した。

(3) 産業機械の国際競争力強化に関する調査研究事業の推進

今後の経済発展が注目されるメキシコ、キューバの経済、貿易動向、投資動向、産業、進出日系企業の動向等に関する調査を行った。

(4) 海外貿易会議への協力

経済産業省主催の海外貿易会議（産業機械）の幹事団体として、2017（平成29）年の開催に向け、内外関連機関と協力しつつ、新興国を中心に市場特性に応じた産業機械の需給動向、投資状況等に関する情報収集を行い、貿易会議開催候補地の選定を行うと共に現地事前調査を行った。

(5) 講演会の開催

2016（平成28）年5月12日

テーマ：キューバ経済の動向とビジネス機会

講師：西澤 裕介 殿 独立行政法人日本貿易振興機構 海外調査部 米州課
課長代理

(6) 関係行政機関及び関連団体への協力、連携

ア. 各種調査情報を経済産業省、独立行政法人日本貿易振興機構等関連機関へ提供すると共に、産業機械産業の健全な貿易発展のための連携を図った。

イ. 海外からの引合・斡旋等を行い、円滑な貿易の遂行に協力した。

4. 編集広報委員会

(1) 委員会

延べ2回の委員会を開催し、次の事項について審議を行った。

ア. 2016（平成28）年度第1回〔2016（平成28）年9月28日〕

 a. 月刊機関誌「産業機械」2017（平成29）年の編集方針、年間テーマ

 b. 月刊機関誌「産業機械」会員トピックス掲載内容

イ. 2016（平成28）年度第2回〔2016（平成28）年12月15日〕

 a. 月刊機関誌「産業機械」会員トピックス掲載内容

 b. 月刊機関誌「産業機械」コラム「輝くりケジヨ」掲載スケジュール

(2) 施設調査の実施

国土交通省 江戸川河川事務所 首都圏外郭放水路の広報施設「龍Q館」、調圧水槽、排水ポンプ設備等の視察を2016（平成28）年12月15日に実施した。

5. 産業機械工業規格等調査委員会

(1) 委員会の開催

次の通り年2回委員会を開催し、機種別部会のISO、JIS、JIMS関連の活動状況及び関連法規、規格等への対応状況について報告及び確認を行った。

ア. 2016（平成28）年8月23日

イ. 2017（平成29）年3月2日

(2) 規格関連の情報提供

金属材料の機械試験分野の国際標準化（ISO/TC164）の取組みと近年の規格動向について情報を提供した。

6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会

2016（平成28）年4月6日に委員会を開催し、会員企業の役員または職員のうち産業機械工業の発展に特に貢献された功績者11名を表彰候補者として選出し、第569回理事会（書面）〔2016（平成28）年5月6日〕へ上程した。

7. 環境委員会

(1) 委員会の開催

ア. 第69回委員会〔2016（平成28）年4月13日〕

2016（平成28）年度事業計画（案）及び2015（平成27）年度事業報告（案）、2020年度の廃棄物削減対策の新目標の策定、環境自主行動計画の改訂等について審議を行った。

イ. 第70回委員会〔2016（平成28）年6月2日〕

2016（平成28）年度の定例調査（温暖化対策、廃棄物対策、VOC大気排出実績）の実施、環境活動報告書の作成、2020年度の廃棄物削減対策の新目標アンケートの実施等について審議を行った。

ウ. 第71回委員会〔2016（平成28）年10月19日〕

次の事項について審議を行った。

- a. 「産業機械工業の低炭素社会実行計画」2016（平成28）年度定例調査集計結果
- b. 廃棄物削減対策の新目標アンケート結果
- c. 「環境活動基本計画」（案）
- d. 「産業機械工業の循環型社会形成自主行動計画」（案）

エ. 第72回委員会〔2016（平成28）年12月2日〕

次の事項について審議を行った。

- a. 「VOC大気排出実績調査結果」2016（平成28）年度調査集計結果
- b. 「産業機械工業の循環型社会形成自主行動計画」2016（平成28）年度定例調査集計結果
- c. 「環境活動基本計画」目標達成に向けて（運営幹事会への報告事項）
- d. 2016年度環境活動報告書

(2) ワーキンググループの活動

ア. VOC自主管理ワーキンググループ

「VOC排出実態調査」を実施し、調査結果の集計・評価を行い、当工業会のVOC自主管理のあり方について検討した。

イ. 環境自主行動計画フォローアップワーキンググループ

「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査について、集計・評価等を行った。また、2020年度の廃棄物削減対策の新目標、環境自主行動計画の改訂、今後の方針等について検討した。

ウ. 環境活動報告書作成ワーキンググループ

「2016年度環境活動報告書」の構成の検討、取材、報告書案の作成等を行った。

(3) 「産業機械工業の環境自主行動計画」改訂（案）の作成

一般社団法人日本経済団体連合会の環境自主行動計画が低炭素社会実行計画と循環型社会形成自主行動計画に再編されたことを受け、当工業会の環境自主行動計画についても再編し、温暖化対策を低炭素社会実行計画として、廃棄物削減対策を循環型社

会形成自主行動計画としてそれぞれの目標を定める等、更なる充実を図ると共に、名称を「環境活動基本計画」と変更する改訂案を作成した。

(4) 内外動向の調査研究

ア. 定例調査等の実施

産業機械工業における環境保全対策の動向を把握する目的から、「産業機械工業の環境活動基本計画」2016（平成28）年度定例調査及び、「VOC大気排出実績調査」2016（平成28）年度調査を実施すると共に、各集計結果を会員、関係省庁及び関連団体に報告した。

イ. 施設調査等の実施

北九州エコタウン（西日本オートリサイクル株式会社、株式会社リサイクルテック、株式会社北九州風力発電研究所）、NPO法人赤煉瓦倶楽部 旧サッポロビール醸造棟、株式会社安川電機 ロボット工場の視察を2016（平成28）年6月2日、3日に実施した。

また、株式会社IHI IHIものづくり館アイミューズの視察を2016（平成28）年12月2日に実施した。

(5) 関係行政機関及び関連団体への協力

ア. 経済産業省

産業構造審議会産業技術環境分科会地球環境小委員会電子・電機・産業機械等ワーキンググループ〔2017（平成29）年2月1日〕において、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき報告した。

イ. 一般社団法人日本経済団体連合会

環境自主行動計画（循環型社会形成編）・低炭素社会実行計画の2016（平成28）年度フォローアップ調査について、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき回答した。

(6) 報告書等のとりまとめと情報提供

委員会活動において、「2016年環境活動報告書」を始めとする各種報告書を取りまとめ、関係機関等へ提出すると共に、講演会を開催し、会員企業への情報提供に努めた。

8. エコスラグ利用普及委員会

廃棄物溶融施設で生産される溶融固化物（エコスラグ）の利用促進に必要な事業を企画立案すると共に、エコスラグの標準化及び利用普及の推進活動を行った。

また、関係行政機関に協力し、専門家の派遣等利用普及事業の推進を支援した。

(1) エコスラグ標準化の推進

- ア. JIS A 5031 (一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ) 及び、JIS A 5032 (一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化した道路用溶融スラグ) 改正に向けて、一般財団法人日本規格協会、日本工業調査会 (JISC) のJIS本文の見直し・解説作成に協力した。
- イ. 2016 (平成28) 年12月一般財団法人日本品質保証機構と共催で、「溶融スラグJIS改正説明会」を開催した。
- ウ. 2016 (平成28) 年7月から「道路用溶融スラグ設計施工マニュアル改訂ワーキンググループ」にてマニュアルの見直しを行い、2017 (平成29) 年3月「改訂版」を作成・発行した。

(2) エコスラグ利用普及の推進

- ア. 全国のスラグ生産量、利用状況、溶融施設データ及びスラグ品質データなどの調査を行い、2015年度版報告書「エコスラグ有効利用の現状とデータ集」を2016 (平成28) 年5月に発行した。
- イ. スラグに関する情報発信・広報活動
 - a. 「全国都市清掃研究・事例発表会」で「JIS改正のための溶融スラグの環境安全品質に関する試験結果とデータ解析結果」に関する報告を行った。
 - b. ウェブサイトでエコスラグ利用普及委員会の毎月の活動報告等に関する情報発信を行った。
 - c. 全国9か所の焼却・溶融施設調査を行い、スラグ有効利用など意見交換を行った。
「岐阜県西濃環境保全センター」「群桐エコロ株式会社 群馬ハイブリッドクリーンセンター」「西秋川衛生組合高尾清掃センター」「広野町仮設減容化施設」「飯舘村蕨平地区仮設焼却施設」「株式会社倉敷環境 一般・産業廃棄物焼却溶融再資源化施設」「ユナイテッド計画株式会社 リサイクリングワーク秋田」「さいたま市桜環境センター」「東埼玉資源環境組合」
 - d. 溶融スラグを原材料とするコンクリート二次製品工場3か所の調査を行い、有効利用等に関する意見交換を行った。
「協和コンクリート工業株式会社」「株式会社牧港産業」「株式会社ホクエツ秋田 秋田工場」
- ウ. 自治体・産業界に対するスラグ利用普及支援
 - a. 自治体連絡会・意見交換会・施設見学会を10月6日～7日名古屋市で開催し、産・学・官での情報交換・情報共有を行った。
 - b. 自治体向けに「自治体通信」を2月に発行した。
 - c. 自治体などが主催する講演会に講師を3回派遣した。

IV 関西支部関係

本部と緊密な連携を図り、機種別部会及び政策委員会、労務委員会を随時開催して、関係省庁はもとより関連団体と連携しつつ、次の事業を実施した。

1. ボイラ・原動機部会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2016（平成28）年6月9日に次のとおり選任した。

部会長：中邑 三郎 株式会社ヒラカワ 常務取締役 滋賀事業所長（再任）

副部会長：森 秀之 株式会社IHI汎用ボイラ 関西支店長（再任）

(2) 講演会の開催

2016（平成28）年9月9日に次のとおり開催した。

テーマ：最近の近畿経済の動向について

講師：奥田 泰光 殿 経済産業省 近畿経済産業局 総務企画部 調査課長

(3) 施設調査の実施

2016（平成28）年7月8日に株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズのAMデザインラボ（箕面市）を訪問し、展示サンプルパーツ及び積層造形の現場を見学した。

(4) 東西合同会議

2016（平成28）年10月6日～9日に開催し、台湾のYKK台湾社 中歴工場を訪問し、ファスナー製造工場を視察した後、公益財団法人交流会台北事務所等を訪問した。

2. 化学機械部会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2016（平成28）年9月15日に、次のとおり選任した。

部会長：小林 康真 木村化工機株式会社 取締役社長（再任）

副部会長：栗田 佳直 株式会社栗田機械製作所 取締役社長（再任）

副部会長：正木 恵之 三菱化工機株式会社 執行役員 大阪支社長（再任）

(2) 講演会の開催

2016（平成28）年9月15日に次のとおり開催した。

ア．テーマ：平成29年度経済産業政策の重点と概算要求のポイント

講 師：坂本 和英 殿 経済産業省 近畿経済産業局 製造産業課長

イ．テーマ：製造現場におけるロボット導入と人材育成について

講 師：高丸 正 殿 高丸工業株式会社 代表取締役

（3）施設調査の実施

2016（平成28）年9月15日に 西宮工場（兵庫県西宮市）を訪問し、ロボットの製造ラインとロボットシステムの説明を受けた後、株式会社ロボットテクニカルセンター（兵庫県西宮市）において産業用ロボット教育講習の説明を受け、人材育成について意見交換を行った。

3. 環境装置部会

（1）役員改選

役員改選期に伴い、2016（平成28）年7月13日に、次のとおり選任した。

部 会 長：内山 典人 株式会社タクマ 執行役員 エンジニアリング統括本部
設計センター長（再任）

副部会長：山本 和久 日立造船株式会社 執行役員
環境EPCビジネスユニット長（再任）

副部会長：佐藤 淳 株式会社クボタ 水・環境総合研究所
水・環境開発第三部長（再任）

副部会長：平野 悟 株式会社ササクラ 常務取締役（新任）

（2）講演会の開催

2016（平成28）年7月13日に次のとおり開催した。

ア．テーマ：製造業におけるビッグデータ活用 ～時系列データから生産設備の異常を検知～（政策委員会と共催）

講 師：前田 俊二 殿 広島工業大学 工学部 電子情報工学科 教授

イ．テーマ：高効率型二軸スクリープレス脱水機

講 師：松井 寛幸 殿 株式会社クボタ 水処理システム技術部 担当課長

ウ．テーマ：汚泥減量型好気処理プロセス（バイオプラネット®SR）

講 師：藤島 繁樹 殿 栗田工業株式会社 開発本部装置開発部 主任研究員

（3）施設調査の実施

2016（平成28）年8月24日に、北海道電力 南早来変電所（北海道勇払郡）及び苫小牧市上下水道部 西町下水処理センター（北海道苫小牧市）を訪問し、大型蓄電システム実証事業、運転管理状況について見学を行った。

4. 風水力機械部会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2016（平成28）年9月7日に、次のとおり選任した。

部会長：辻本 治 株式会社鶴見製作所 取締役社長（再任）

副部会長：佐上 龍紀 三國重工業株式会社 取締役社長（再任）

副部会長：岩波 清久 日本ピラー工業株式会社 取締役社長（再任）

副部会長：井上 貴雄 株式会社荏原風力機械 取締役社長（新任）

(2) 講演会の開催

2016（平成28）年9月7日に次のとおり開催した。

テーマ：製造業のサービス化動向とサービス産業現場改善の試み

講師：藤井 信忠 殿 神戸大学大学院 システム情報学研究科

システム科学専攻 准教授

5. 運搬機械部会巻上機委員会繊維スリング分科会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2016（平成28）年5月23日に、次のとおり選任した。

分科会長：河野 俊雄 株式会社キトー 執行役員（再任）

副分科会長：立山 智彦 東レインターナショナル株式会社 産業資材部長（再任）

(2) 講演会の開催

2016（平成28）年5月23日に次のとおり開催した。

テーマ：製造業の現状と中小企業・小規模事業者施策について

講師：日 健二 殿 経済産業省 近畿経済産業局 産業部 製造産業課

課長補佐

(3) 施設調査の実施

2016（平成28）年10月28日に、川崎重工業株式会社 精密機械カンパニー ロボットショールーム（兵庫県神戸市）を訪問し、自動車製造ラインで稼働する溶接や塗装などのロボットをはじめ、様々な産業用ロボットの実機を見学した。

6. 政策委員会

関西支部運営の中核として年8回開催し、運営幹事会で報告されている毎月の産業機

械の統計関係、当工業会の活動状況、海外駐在員の近況報告や講演内容の報告の他、意見交換等を行った。

また、下記のとおり講演会を開催した。

(1) 2016 (平成 28) 年 7 月 13 日 (環境装置部会との共催)

テーマ：製造業におけるビッグデータ活用

～時系列データから生産設備の異常を検知～

講師：前田 俊二 殿 広島工業大学 工学部 電子情報工学科 教授

(2) 2016 (平成 28) 年 9 月 27 日

テーマ：スマートエネルギー推進に向けた近畿経済産業局の取り組み

講師：永山 純弘 殿 経済産業省 近畿経済産業局
資源エネルギー環境部長

(3) 2017 (平成 29) 年 3 月 28 日

テーマ：イノベーションはベンチャーから生まれる

～関西にベンチャーエコシステムはできるか？～

講師：深野 弘行 殿 伊藤忠商事株式会社 常務執行役員

7. 労務委員会

労務問題は、人事評価制度、定年制、退職金、福利厚生等多岐に亘っており、これら労務対策の研究及び推進を図るため次の会議等を実施すると共に、意見交換を行った。

(1) 委員会

ア. 第1回委員会

2016 (平成28) 年6月14日に開催し、次の講演会を開催し、意見交換を行った。

a. テーマ：ハルカス大学プロジェクトの全体概要と人間関係力向上対策事業について

講師：明野 欣市 殿 ハルカス大学プロジェクト 運営委員会 委員長

b. テーマ：集中力研修の概要

講師：森 健次朗 殿 株式会社集中力 代表取締役

c. テーマ：体験型チームビルディングの概要

講師：茶原 忠督 殿 有限会社ソウルメイト 代表取締役

d. テーマ：人間関係が変われば職場が変わる ～トラブルシューティング実践セミナー～

講師：宮崎 英二 殿 ヒューマニクス研究所 代表

イ. 第2回委員会

2016 (平成 28) 年 12 月 2 日に委員会を開催すると共に大阪市立阿倍野防災センター (大阪市阿倍野区) を訪問し、職員の説明、案内の下、地震災害時における消火

作業、負傷者に対する応急処置、避難時における注意点等の各種防災訓練の実務を体験しながら、防災に対する知識向上に向けた質疑応答を行った。

ウ. 第3回委員会

2017（平成29）年3月3日に開催し、次の講演会を開催し、意見交換を行った。

テーマ：「働き方改革」について

講師：砂 修 殿 大阪労働局 雇用環境・均等部 指導課長

(2) 役員改選

役員改選期に伴い、2016（平成28）年6月14日に次のとおり選任した。

委員長：森本 勝 日立造船株式会社 執行役員 業務管理本部
総務・人事部長（再任）

副委員長：水野 健 三和ハイドロテック株式会社 総務部 部長（再任）

副委員長：後藤 吉弘 株式会社ダイフク 総務部 部長（新任）

8. 新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

(1) 関西大会懇親会

リーガロイヤルホテルにおいて、2016（平成28）年11月10日の関西大会終了後に開催した。

(2) 新年賀詞交歓会

リーガロイヤルホテルにおいて2017（平成29）年1月11日に開催した。

9. 各種調査への協力

以下の委員会に出席し、協力した。

(1) 経済産業省 近畿経済産業局

「関西地域におけるIoT・ロボットを活用した中堅・中小製造業における生産性向上に関する調査事業」

(2) 一般社団法人日本機械工業連合会 大阪事務所

「関西地区のロボット導入状況及び今後の活用分野に関する調査」

V 共通基盤事業関係

1. 総会における決議、関西大会における提言の取りまとめ

次の政策提言を関係省庁等に対して提出した。

- (1) 決議〔定時総会2016（平成28）年5月〕
- (2) 日本経済を持続的な成長軌道に導くために（関西大会政策提言）〔関西大会（第575回理事会、第42回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議）2016（平成28）年11月〕

2. 統計調査の実施と統計情報の提供

次の項目について、月次調査及び集計を実施した。集計結果は、理事会での報告と会員への提供を行うと共に、関係省庁、関連団体、報道機関等に配布した。また、暦年・年度及び需要部門毎の資料整備と分析を行い、当工業会の基礎的統計資料の整備に努めた。

- (1) 産業機械受注状況
(自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計)
- (2) 産業機械輸出契約状況
(自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・地域別集計)
- (3) 環境装置受注状況
(自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計)
- (4) 産業機械輸出入実績
(財務省貿易統計ベース、月次毎、機種別・需要部門別集計)
- (5) 2017（平成29）年度産業機械の受注見通し〔2017（平成29）年2月28日公表〕

3. 海外生産活動等に関する調査研究

中国経済の下振れ、英国のEU離脱、米国での新政権発足等、世界経済の見通しが難しいなかグローバル競争は熾烈を極め、日本企業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にある。こうしたなか産業機械業界においては、成長のための積極的な事業展開として新興国を中心としたグローバル市場への進出が進みつつある。

これらの状況から会員企業の海外事業を支援するため、海外における事業活動の実態調査を行い、今後の制度的ニーズを調査する上でのデータベース整備を行った。

4. 風力発電関連機器産業等新エネルギー関連分野の調査研究

風力発電関連機器産業に関して国内製造企業を中心に生産規模などのアンケート調査を実施し、産業の現状と動向の分析を行い、2017（平成29）年3月「風力発電関連機器産業に関する調査研究報告書」として取りまとめた。

前年に続き、2016年（平成28）6月「2030年風力発電グリッドパリティを目指して」をテーマとしたセミナーを、一般社団法人日本電機工業会、一般社団法人日本風力発電協会と共催で実施した。

5. 優秀環境装置表彰等表彰事業の実施

環境装置メーカー等が開発した優秀な装置の普及と技術開発の促進を目的に、1974（昭和49）年度から通商産業省（現経済産業省）の後援のもと、優秀環境装置の表彰事業を実施している。賞の種類は、経済産業大臣賞、経済産業省産業技術環境局長賞、中小企業庁長官賞、一般社団法人日本産業機械工業会会長賞であり、その他受賞装置の開発に携わった主たる開発者に対し、当工業会会長より表彰を行っている。

2016（平成28）年度（第43回）は、全国から14件の応募があり、これら装置について独創性、性能、経済性、将来性等の項目に関し書面審査、実地調査等の厳正なる審査を行い、表彰する。

なお、平成27年度事業（第42回）において優秀と評価された環境装置について、2016（平成28）年6月20日に表彰式を行った。

また、経済産業大臣賞、経済産業省産業技術環境局長賞、中小企業庁長官賞を受賞した装置の研究・開発に携った主たる開発者について、計13名を一般社団法人日本産業機械工業会会長が表彰した。

表彰対象装置及び受賞者は次の通り。

- (1) 経済産業大臣賞
装置名：高効率型二軸スクリープレス脱水機
受賞者：株式会社クボタ
- (2) 経済産業省産業技術環境局長賞
装置名：汚泥減量型好気処理プロセス（バイオプラネット®SR）
受賞者：栗田工業株式会社
- (3) 中小企業庁長官賞
装置名：ハイスピードシリンダーとインバータによる古紙圧縮梱包機の省エネシステム（省エネ油圧ジャンボプレス機 SW770 型 HE）
受賞者：株式会社昭和
- (4) 日本産業機械工業会会長賞（応募申請書受付順）
装置名：汚水沈砂池向けノズル式集砂装置（エジェクタ式集砂装置）
受賞者：アクアインテック株式会社
- 装置名：再生プラスチック原料中のゴム系異物選別装置
受賞者：協和工業株式会社
- 装置名：乾式反応集じん装置（プレコートバッグフィルタ）
受賞者：株式会社プランテック
- 装置名：高負荷生物脱窒素装置（バイオドリスター）
受賞者：前澤化成工業株式会社
- 装置名：オイルミスト捕集用電気集じん装置（EM-e II シリーズ）
受賞者：アマノ株式会社
- 装置名：浮上型チェーンフライト式汚泥かき寄せ機
受賞者：月島機械株式会社

6. 生産性向上設備投資促進税制、中小企業等経営強化法における経営力向上設備等に関する税制措置への対応

生産性向上設備投資促進税制及び、中小企業等経営強化法における経営力向上設備等に関する税制措置について、設備メーカー（製造事業者等）からの申請に基づき、生産性向上に係る該当要件を確認し、「証明書」を発行した。

また、中小企業経営強化税制に関わる対象設備等説明会を2017（平成29）年3月30日に開催し、経済産業省 中小企業庁 事業環境部 企画課 課長補佐 太刀川徹殿、財務課 課長補佐（税制担当） 影山法亨殿より、中小企業経営強化税制に関わる固定資産税の減免措置や生産性向上設備の税額控除の仕組み等の説明を受けた。

7. 月刊機関誌「産業機械」の発行と関連情報の提供

（1）月刊機関誌「産業機械」の発行

2016年は「人と暮らしを支える産業機械」を、2017年は「IoTで繋がる、広がる産業機械」を年間テーマに掲げ、会員各社の新製品・新技術の紹介を中心に、各種統計資料、当工業会の情報を編集し、発行した。

なお、特集号及び紹介号は次のとおりである。

2016（平成28）年 4月号（No. 787）	プラスチック機械
2016（平成28）年 5月号（No. 788）	環境装置①
2016（平成28）年 6月号（No. 789）	環境装置②
2016（平成28）年 7月号（No. 790）	当工業会が実施した研究事業の概要
2016（平成28）年 8月号（No. 791）	風水力機械①
2016（平成28）年 9月号（No. 792）	風水力機械②
2016（平成28）年 10月号（No. 793）	ボイラ・優秀環境装置①
2016（平成28）年 11月号（No. 794）	化学機械・タンク・優秀環境装置②
2016（平成28）年 12月号（No. 795）	業務用洗濯機・風力発電導入拡大に向けた緊急討論・経営力向上設備等証明書発行のお知らせ
2017（平成29）年 1月号（No. 796）	経済産業省 製造産業局長、会長、支部長、委員長、部会長年頭所感
2017（平成29）年 2月号（No. 797）	鋳山機械・製鉄機械
2017（平成29）年 3月号（No. 798）	運搬機械・動力伝導装置

（2）ウェブサイトの運営及び掲載内容の検討

会員の紹介、当工業会活動内容及び各種事業の開示を目的に、ウェブサイト（<http://www.jsim.or.jp/>）の管理・運営を行った。

VI 共通基盤活動関係

1. 総会、理事会、正副会長会議等会議の運営

(1) 定時総会

2016（平成 28）年 5 月 19 日、ホテルオークラ東京において開催し、次の議案をいずれも満場一致をもって原案のとおり承認した。

ア. 2015（平成 27）年度事業報告承認の件

イ. 2015（平成 27）年度決算報告承認の件

ウ. 2016（平成 28）年度事業計画決定の件

エ. 2016（平成 28）年度収支予算決定の件

オ. 決議の件

カ. 役員改選の件

経済産業省 大臣官房審議官 福島 洋殿より挨拶があった。

総会終了後、2016（平成 28）年度産業機械工業功績者表彰式を行った。

また、同表彰式終了後、会員始め多数の来賓を迎え、定時総会パーティを開催した。

(2) 理事会

2016（平成 28）年度に次のとおり 9 回開催し、各議案について審議を行った。

ア. 第 569 回理事会（書面審議）〔2016（平成 28）年 4 月 26 日〕

a. 2015（平成 27）年度事業報告（案）及び 2015（平成 27）年度決算報告（案）

b. 決議

c. 新入会員

d. 2016（平成 28）年度産業機械功績者表彰受賞候補者

e. 2016（平成 28）年度定時総会の招集

イ. 第 570 回理事会〔2016（平成 28）年 5 月 19 日〕

a. 会長、副会長、支部長、専務理事及び常務理事選任

b. 常任幹事、幹事の選任

c. 2015（平成 27）年度下期工業会活動状況

ウ. 第 571 回理事会（書面審議）〔2016（平成 28）年 6 月 30 日〕

a. 常任幹事の補充選任（案）

b. 顧問の委嘱（案）

エ. 第 572 回理事会（書面審議）〔2016（平成 28）年 7 月 29 日〕

幹事の補充選任（案）

オ. 第 573 回理事会（書面審議）〔2016（平成 28）年 9 月 30 日〕

平成 29 年度税制要求の決議（案）

- カ. 第 574 回理事会（書面審議）〔2016（平成 28）年 10 月 31 日〕
 - a. 常任幹事・幹事の補充選任（案）
 - b. 環境自主行動計画
- キ. 第 575 回理事会〔2016（平成 28）年 11 月 10 日〕
 - a. 政策提言－日本経済を持続的な成長軌道に導くために（案）
 - b. 2016（平成 28）年度上期工業会活動状況
- ク. 第 576 回理事会（書面審議）〔2016（平成 28）年 12 月 28 日〕
 - 幹事の補充選任（案）
- ケ. 第 577 回理事会（書面審議）〔2017（平成 29）年 3 月 31 日〕
 - a. 2017（平成 29）年度事業計画（案）及び 2017（平成 29）年度収支予算（案）
 - b. 関連規程等の整備（案）

（3）運営幹事会

2016（平成 28）年度に次のとおり 9 回開催し、毎月の産業機械受注状況、輸出契約状況、環境装置受注状況、海外駐在員の近況報告、当工業会の活動状況等について報告を行った。

- ア. 第 37 回運営幹事会〔2016（平成 28）年 4 月 26 日〕
 - a. 講演
 - テーマ：パリ協定の採択と今後の地球温暖化対策の展望
 - 講師：服部 桂治 殿 経済産業省 産業技術環境局 環境経済室長
 - b. 新入会員
 - c. 2015（平成 27）年度事業報告（案）及び 2015（平成 27）年度決算報告（案）
 - d. 決議（案）
 - e. 2016（平成 28）年度産業機械工業功績者表彰候補者（案）
- イ. 第 38 回運営幹事会〔2016（平成 28）年 6 月 20 日〕
 - a. 講演
 - テーマ：経済産業省の省エネ施策の動向について
～未利用熱活用制度について～
 - 講師：吉川 泰弘 殿 経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー課
課長補佐
 - b. 常任幹事の補充選任
 - c. 部会長の委嘱
- ウ. 第 39 回運営幹事会〔2016（平成 28）年 7 月 21 日〕
 - a. 講演
 - テーマ：2016 年版通商白書について
 - 講師：石川 靖 殿 経済産業省 通商政策局 企画調査室長
 - b. 幹事の補充選任
 - c. 部会長の委嘱
- エ. 第 40 回運営幹事会〔2016（平成 28）年 9 月 21 日〕
 - a. 講演

テーマ：平成 29 年度経済産業政策の重点

講師：片岡 隆一 殿 経済産業省 製造産業局 産業機械課長

b. 平成 29 年度税制改正要望（案）

オ. 第 41 回運営幹事会〔2016（平成 28）年 10 月 20 日〕

a. 講演

テーマ：イラン及びサウジ情勢について

講師：木原 晋一 殿 経済産業省 通商政策局 中東アフリカ課長

b. 常任幹事・幹事の補充選任

c. 部会長の委嘱

d. 環境自主行動計画

e. 関西大会の開催

カ. 関西大会（第 575 回理事会、第 42 回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議）
〔2016（平成 28）年 11 月 10 日〕

a. 講演

テーマ：関西経済の活性化に向けて

講師：青木 朋人 殿 経済産業省 総務企画部長

b. 政策提言－日本経済を持続的な成長に導くために（案）

c. 2016（平成 28）年度上期工業会活動状況

キ. 第 43 回運営幹事会〔2016（平成 28）年 12 月 21 日〕

a. 講演

テーマ：日露経済分野の協力について

講師：南 亮 殿 経済産業省 通商政策局 欧州課長

b. 幹事の補充選任

c. 「環境活動基本計画」フォローアップ調査実施報告

d. 新年賀詞交歓会

ク. 第 44 回運営幹事会〔2017（平成 29）年 2 月 21 日〕

a. 講演

テーマ：産業保安のスマート化について

講師：高橋 正和 殿 経済産業省 商務情報政策局

商務通商保安グループ 高圧ガス保安室長

b. 2017（平成 29）年度産業機械の受注見通し（案）

ケ. 第 45 回運営幹事会〔2017（平成 29）年 3 月 22 日〕

a. 講演

テーマ：今後の日本の通商政策

講師：片岡 隆一 殿 経済産業省 製造産業局 産業機械課長

b. 2017（平成 29）年度事業計画（案）及び 2017（平成 29）年度収支予算（案）

c. 関連規程等の整備（案）

（4）会長、副会長会議

当工業会の運営及び事業活動の円滑化を図るための基本的事項について協議を行う

ため、2017（平成 29）年 3 月 15 日に開催し、産業機械業界の景気動向、2017（平成 29）年度事業計画案、同収支予算案、その他当面の諸問題について協議、懇談を行った。

(5) 会長、委員長、部会長会議〔2016（平成 28）年 12 月 21 日〕

佃会長が出席し、各委員長、部会長から委員会、部会活動状況等の報告があり、当面の課題について懇談を行った。

(6) 監事監査〔2016（平成 28）年 4 月 19 日〕

2015（平成 27）年度の事業報告及び決算報告の監査が宮田監事（ホソカワミクロン株式会社）、田中監事（一般財団法人日本品質保証機構）によって、関係資料、諸帳簿及び証拠書類に基づき行われ、妥当かつ正確であることが確認された。

2. 新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

(1) 定時総会パーティ

ホテルオークラ東京において、2016（平成 28）年 5 月 19 日に定時総会、産業機械工業功績者表彰式の終了後に開催した。

(2) 新年賀詞交歓会

ホテルオークラ東京において、2017（平成 29）年 1 月 10 日に開催した。来賓を代表され、経済産業省 製造産業局長 糟谷敏秀殿から挨拶があり、参加者一同新年の賀詞を交歓した。

3. 2016（平成 28）年度産業機械工業功績者の表彰

2016（平成 28）年 5 月 19 日の定時総会において、次のとおり表彰した（表彰順）。

(氏名)	(会社名)	(推薦部会・委員会)
大田 祐資 殿	大同機械製造株式会社	関西支部政策委員会
川上 孝行 殿	新東工業株式会社	環境装置部会
河原 泰 殿	IHI 運搬機械株式会社	運搬機械部会
栗生正太郎 殿	株式会社荏原製作所	産業機械工業規格等調査委員会
佐藤 容啓 殿	株式会社栗本鐵工所	政策委員会・労務委員会
平 耕司 殿	木村化工機株式会社	化学機械部会
釣井 誠 殿	荏原ハマダ送風機株式会社	風水力機械部会

前田 東一 殿	株式会社荏原製作所	風水力機械部会
宮田 清巳 殿	ホソカワミクロン株式会社	関西支部政策委員会
八木 正幸 殿	東芝機械株式会社	プラスチック機械部会
山内 芳彦 殿	JX エンジニアリング株式会社	タンク部会

4. 団体生産物賠償責任保険（PL保険）の提供

2016（平成28）年度国内・海外生産物賠償責任保険（PL保険）の募集を実施し円滑な運営に努めると共に、2017（平成29）年度の募集に向け、保険制度の確認等を行った。

5. 全国産業機械野球大会及び産業機械テニス大会等の福利厚生事業

（1）第63回全国産業機械野球大会

会員各社従業員の厚生事業の一環として、1954（昭和29）年から毎年開催しており、全日本実業団野球連盟、日刊工業新聞社、日本工業新聞社、スポーツニッポン新聞社の後援のもと、2016（平成28）年5月28日、6月4日の2日間、東京薬業健康保険組合総合運動場（埼玉県和光市）において開催した。なお、参加は8チームであった。

優 勝	株式会社電業社機械製作所	（紅龍旗争奪）
準優勝	JFEプラントエンジニアリング株式会社	（蒼龍旗争奪）
第3位	株式会社IHI	（白龍旗争奪）
第3位	三菱重工株式会社	

また、当大会の優勝チームを、全日本実業団野球連盟主催の東京ドームで開催される第67回実業団野球全国大会（紅龍旗争奪）、準優勝チームを第70回実業団野球業種別東京大会（蒼龍旗争奪）及び第3位のうち1チームを第65回実業団野球東京大会（白龍旗争奪）へそれぞれ産業機械業界代表として推薦した。

（2）第57回産業機械テニス大会

会員各社従業員の厚生事業の一環として、1960（昭和35）年から毎年開催しており、日刊工業新聞社、日本工業新聞社の後援のもと、2016（平成28）年9月3日に三菱重工業株式会社桜ヶ丘コート（東京都大田区）において開催した。なお、参加は7チームであった。

優 勝	三菱重工業株式会社
準優勝	水ing株式会社
第3位	オルガノ株式会社

(3) 2016（平成 28）年度会長杯ゴルフ大会

会員の親睦をより一層深めることを目的として毎年 2 回会長杯ゴルフ大会を開催しており、2016（平成 28）年度の優勝者は次のとおりであった。

- ア. 第 1 回 2016（平成 28）年 5 月 20 日 小金井カントリー倶楽部
優 勝 中川 通弘 殿 株式会社タンケンシールセーコウ
- イ. 第 2 回 2016（平成 28）年 11 月 11 日 茨木カントリー倶楽部
優 勝 佃 和夫 殿 三菱重工業株式会社

6. 東日本大震災、熊本地震等に係る復旧・復興への支援・協力

経済産業省の要請による復旧・復興に向けた機材等の提供について会員企業に対して呼びかけを行う等、当工業会として最大限、でき得ることに取り組んだ。

一般社団法人 日本産業機械工業会

本部 東京都港区芝公園3丁目5番8号
〒105-0011 (機械振興会館4階)

電話 東京 (03) 3434-6821番 (代)

FAX 東京 (03) 3434-4767番

関西支部 大阪府大阪市北区西天満2丁目6番8号
〒530-0047 (堂ビル2階)

電話 大阪 (06) 6363-2080番 (代)

FAX 大阪 (06) 6363-3086番
